

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

絆3：みんなで進める三重の景観づくり（主担当部：県土整備部）

< 重点事業の目標 >

「三重県景観計画」に基づく新しい届出制度の周知をはかり、円滑な運用に取り組むなど、「三重県景観計画」の着実な推進をはかることで、市町における景観計画の策定支援や景観施策の展開について、先導的な役割を果たしていきます。

さらに、御遷宮や熊野古道世界遺産登録10周年（平成26年）を迎える伊勢志摩地域や東紀州地域を重点地域として選定し、まちづくりを進める地域の団体や市町と連携し、美しい景観の保全や地域の景観を損ねている要因の排除を進めます。

< 構成事業（担当部） >

- （1）みえの景観計画推進事業（県土整備部）
- （2）屋外広告物景観形成事業（県土整備部）
- （3）無電柱化推進事業（県土整備部）
- （4）アクセス道路景観整備事業（県土整備部）
- （5）日本風景街道景観形成事業（県土整備部）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(167,839)	(156,000)	168,000	168,000
168,095	120,950		

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H19およびH20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
重点地域において、市町、県が制定した景観や屋外広告物に関する条例等の件数（累計）	目標値	-	17件	18件	18件	20件
	実績値	16件				

重点地域である伊勢志摩地域、東紀州地域において、美しい景観づくりを実践していくための指針となる景観条例や景観計画、屋外広告物に関する地区指定等の件数

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)「三重県景観計画」に関する解説書等の作成と色彩指導者の育成（累計）	目標値	-	2件	4件	5件	6件
	実績値	-				
(2)屋外広告物沿道景観地区指定数（累計）	目標値	-	4か所	5か所	5か所	6か所
	実績値	4か所				
(3)電線共同溝整備進捗率	目標値	-	2%	16%	36%	56%
	実績値	-				

(4)景観に配慮した着色舗装の整備率	目標値	-	33.3%	55.6%	77.8%	100%
	実績値	-				
(5)景観に配慮した防護柵の整備率	目標値	-	92.0%	100%	-	-
	実績値	-				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・「三重県景観計画」の策定を進めるため、「三重県景観形成有識者懇談会」および「三重県景観審議会」を開催し、意見を聴くとともに、その基本となる「三重県景観づくり条例」を制定しました。また、景観計画の普及啓発と新しい届出制度の円滑な運用をはかるため、景観計画の解説書等の整備を進めています。
- ・伊勢志摩地域において、屋外広告物の色彩等の誘導のための現況調査や無電柱化事業に係る地元調整を実施しています。また、県管理道路の歩道舗装等の修景化に向けた設計を行っています。
- ・東紀州地域において、県管理道路の防護策等の修景化に向けた設計を行っています。

<平成20年度の取組方向>

広域的な行政主体として、長期的、総合的視野に立った「三重県景観計画」の着実な推進をはかるための環境を整えます。

伊勢志摩地域や東紀州地域において、屋外広告物の色彩等の誘導、無電柱化事業、県管理道路の歩道等への景観に配慮した着色舗装や防護柵等による修景を引き続き進めます。

<主な予算要求事業>

美しい景観づくり推進事業【20年度予算額 5,746千円】(事業(1))

県内の良好な景観形成を推進するため、色彩に関するガイドラインを整備するなど「三重県景観計画」の着実な推進をはかるための環境を整えます。

屋外広告物景観形成事業【20年度予算額 5,204千円】(事業(2))

伊勢市内の県道（度会橋から浦田橋まで）の沿道において、「屋外広告物沿道景観地区」を指定し、景観風致維持基準とともに、当該地区の地域特性等を生かした屋外広告物の推奨モデルを作成・公表します。

電線共同溝整備事業【20年度予算額 50,000千円】(事業(3)の一部)

伊勢市駅付近の都市計画道路新国道（県道鳥羽松阪線）において、良好な道路景観の形成や防災性の向上をはかるため、19年度に引き続き、電線共同溝整備による無電柱化を進めます。

公共土木施設維持管理費（地域自立・活性化交付金事業費 アクセス道路）

【20年度予算額 40,000千円】(事業(4))

伊勢自動車道伊勢西インターチェンジから伊勢神宮（外宮・内宮）にアクセスする「県道伊勢磯部線」において、19年度に引き続き、歩道舗装やガードレール等の防護柵を景観に配慮したものに更新するなどの修景化を実施します。

日本風景街道景観形成事業【20年度予算額 10,000千円】(事業(5))

美しい街道空間づくりを進める「日本風景街道」の取組を推進するため、熊野古道と重複する県管理道路等において、景観に配慮した防護柵や歩道・路肩の修景舗装を実施します。